

会議議事録

事業名	令和6年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (2)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第3回授業改善サポーター育成講座開発委員会
開催日時	令和6年9月27日(金) 10:00~12:00
場所	リファレンス駅東ビル貸会議室
出席者	事業責任者：岡村 慎一 <u>計1名</u> 委員：小田 政江、合田 美子、足立 隆、猪俣 昇、 半田 純子、吉橋 大樹 <u>計6名</u> 請負業者：飯塚 正成 <u>計1名</u> <u>合計8名</u>
議題等	①暫定版授業改善サポーターの改善点 ・9月27日(金)時点で12名の参加 ・昨年度の参加者にアンケートとインタビューを実施した ・以下を改善予定 ：専門学校の教員向け教材にする ：昨年度の受講生にインタビューし、スライド教材に反映 ・Youtubeに動画教材の初校をアップロード済み、現在デバッグ中 ：スライド1枚目に「一般社団法人」と追加する ：「協力：熊本大学大学院教授システム学専攻」は動画に追加する。 ：教材協力にあたり必要な手続きがあるかどうかを確認する ・9月26日(木)に細野よりスライド原本をアップロード済み ：昨年度の研修スライドをベースにスライドを作成している ：研修スライド、シラバスの初校もアップロード済み ：LINEのアナウンスの追加、事例を専門学校に変更した ・インタビューを実施したが、アンケートとインタビューで乖離あり ：アンケートでは組織レベルの働きかけが無いように見えたが、実際にインタビューをすると組織レベルの働きかけがあった ：ただし、学校間のつながりは出来ていないことを再確認した →受講生にゴールのマイルストーンの共有がなされなかったから →参加者同士の意識統一をする必要がある ・事後評価は研修直後のアンケートと数か月後のインタビューで実施 ：改善点は【コミュニティ整備、専門学校ケースの追加】と判明

<p>→前回同様の方法で進めつつ、改善の成果を確認する</p> <p>：目標に対して実践できたかどうかについての設問を作成したい</p> <ul style="list-style-type: none">・研修自体の評価や自己評価を行いつつ、外部の評価も行う<ul style="list-style-type: none">※外部＝同僚、上司など：研修3～6カ月後に同僚、上司にインタビューを実施する・研修に送り出すタイミング（10月15日のオリエン）でも、上司が受講生に何を期待しているのか理解する必要がある。 <p>→上司に期待することを聞くことで受講生のモチベーションに繋がる</p> <p>＋上司と受講生で認識共有をするのが良いアイデアだが、研修効果を測るためには直接上司に聞いた方が良いのでは？</p> <p>：上司に直接ヒアリングするメリット</p> <ul style="list-style-type: none">①研修の目的/到達目的を伝えることができる②高度なレベルを上司が求められた場合の軌道修正ができる <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションツールとしては今年はLINEにする<ul style="list-style-type: none">：ワーク中はDiscordが盛んだったが、ワーク後の交流は無かった：Discordが難しい＋きっかけが掴めないから交流が難しかった <p>→10月15日でLINEの使い方をしっかり伝える必要がある</p> <p>→1週間に1度、やりとりをするように促したり進捗共有をする</p> <p>→事前課題をLINE提出し、提出者に他参加者がコメントをする</p> <p>：昨年度は研修中にコミュニケーションツールの設定を実施したが、今年は事前に周知をする</p> <p>：LINEのまとめ役/管理人はデジハリが行う</p> <p>（実証講座の成果を検証するために、委員にも確認役が必要では？）</p> <ul style="list-style-type: none">・動画教材は熊本大学で使われているものを参考に作った、ということ引用にて明記する必要がある<ul style="list-style-type: none">：エンドロールに「協力」と記載すれば問題ない。熊大の意向OK・LMSには熊大LMSを利用する（熊大山下様、10/15オリエン参加可）・第一回研修（第四回WG）は11月5日（日）@福岡で実施<ul style="list-style-type: none">：13時～16時に研修、16時～17時に振り返りを実施：【机、椅子、Wifi、延長コード、電源、プロジェクター、スクリーン <p>マイク、ホワイトボード×島の数、模造紙、付箋、マジックペン、セロテープ×4島、延長コード2本、RGB、HDMIケーブル・プロジェクター・スクリーン】が必要</p> <p>：【模造紙、付箋、マジックペン、セロテープ×4島】は現地調達</p> <p>：延長ケーブルの呼びはデジハリでも用意する</p> <p>→吉橋、足立、小田、猪俣は参加、半田は参加可能？</p> <p>○ホワイトボードは大きさが大小あって不揃いになる可能性がある</p>

	<p>るが有料（1,100円）で用意ができます。</p> <p>○会場レイアウト図を添付します。</p> <p>○延長コートは4本（無料）用意できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月15日（火）15時～16時にオリエンテーションを実施する <ul style="list-style-type: none"> : Zoomで開催、細野・萩原・合田、足立、半田、猪俣、小田が参加 : 研修目的明示（研修中、研修後の最終成果）、自己紹介、LMSアクセス、LINEグループの紹介、3人グループ明示、事前学習、上司に自分自身への期待値を文章でもらってくる宿題明示、を実施 : デジハリがZoomを発行する : 受講生へのオリエン周知は全専研を代表して小田が行う : オリエンを実施することは既に周知済み <p>②第五～七回WGの確認</p> <p>→調整さんで確認。以下はWG候補日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第五回…12月20日（金）15時～17時 @Zoom開催 <ul style="list-style-type: none"> : 目的…講座終了後のチェックと改善アクション ・第六回…1月20日（月）or21日（火）@Zoom開催 <ul style="list-style-type: none"> : 目的…今年度のプログラム、成果物の確定 ・第七回…2月20日（木）or21日（金）@対面&Zoom開催 <ul style="list-style-type: none"> : 目的…次年度の改善、報告ビデオについて合議 <p>合田 To Do</p> <ul style="list-style-type: none"> : 教材協力にあたり必要な手続きがあるかどうかを確認する→動画に入れるべきテロップ確認済、入れる箇所も確認済 : 熊大LMSを利用できる確認→利用可確認済 <p>細野 To Do</p> <ul style="list-style-type: none"> : スライド1枚目に「一般社団法人」と追加する : 【協力：熊本大学大学院教授システム学専攻「教育改善スキル修得オンラインプログラム https://kyoten1.cica.jp/】は毎動画に追加する : Zoomリンクを発行する : LINEグループを作成する <p>小田 or 細野 To Do</p> <ul style="list-style-type: none"> : 受講生へのオリエン周知を実施する : 第五～七回の日時について調整さんで設定する
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回 授業改善サポーター養成講座開発委員会次第